

---

# 何故、柿を食べたんだ。

天桜 紫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

何故、柿を食べたんだ。

### 【Zコード】

Z28070

### 【作者名】

天桜 紫

### 【あらすじ】

ある日、『柿ピート』が柿を食べて、変わり者学級委員長に入れ替わってしまった！？

果たして柿ピートの運命はいかに！？

## 柿を食つ前

俺のあだ名は、小学生の頃から、『柿ピー』だった。

高校生になつた今も、それは変わらない。

このあだ名がついてからというもの、俺は人に、実名で呼ばれる事は、相手が教師でなければ、なくなつた。

そんなある日の日曜日、俺は、部活をサボり、家で寝ていた。

三年生も卒業して、俺達一年は、無理やり部活に出る必要はなくなつた。

俺は、高校生になつて、モテたいが為に、サッカー部に入った。勿論、だからといってモテるようにはならなかつたが、高校生活をそれなりに楽しんでいる。

でも、やっぱり、サボりたい時だつてある。

なんて考えながら、一階の自分の部屋で「ロロロロ」と、妹がやって来て、

「彼女来てるよ。」と、こつもの冷めた顔で言つた。

俺は階段を降りて、玄関の戸を開けると、予想通りの人物が、扉に向こうに立つっていた。

「何時まで待たせたら気が済むのよ。」と云つて、私服で俺を待つていた。

待つてゐるとは、別に言つて無いんだが……。

妹が完全に俺の彼女だと勘違いしている、俺のクラスの名物変わり者学級委員長『浜松 久美子』が、今日も毎飯を作るべく、うちへやつて來た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2807o/>

---

何故、柿を食べたんだ。

2010年10月16日00時32分発行